

# すなやま支援員

VOL.95

だより



令和 8年3月 発行

発行者:砂山地域集落支援員 阿部久美子

拠点施設:めでたや

住所:村上市塩谷1325-48(中央公民館内)

電話: 62-7222

防災タブレット:62-7273

三寒四温の折、少しずつ春の足音が聞こえてきました。今年度は、買い物支援の拠点であった“ぎよぎよかいめでたや”が閉店となり、途方に暮れていた中、塩谷区の区長さんや地域の皆様のご厚意により、塩谷中央公民館に新しい拠点をお借りし集いの場として“めでたや”を開くことができました。“めでたや”で多くの皆様と交流出来ましたことに心より感謝申し上げます。

一年お世話になりました



引き続きお世話になります



集落支援員を始めて早いもので 8 年が経とうとしています。私自身も皆さんとの何気ない会話にたくさんの元気をもらっています。

来年度も買い物支援をはじめとする日々の活動を通じて、この住み慣れた砂山地域で安心して住み続けられるよう、また現在の活動に加え、さらに地域の皆様が集まれる「集いの場」づくりにも力を入れたいと考えております。

皆様の笑顔がさらに増える砂山地域を目指し、来年度も初心を忘れず、地域の皆さんの困りごとに耳を傾け、フットワーク軽く動いてまいります。お気づきの点や困りごとがあれば、いつでもお気軽にお声がけください。

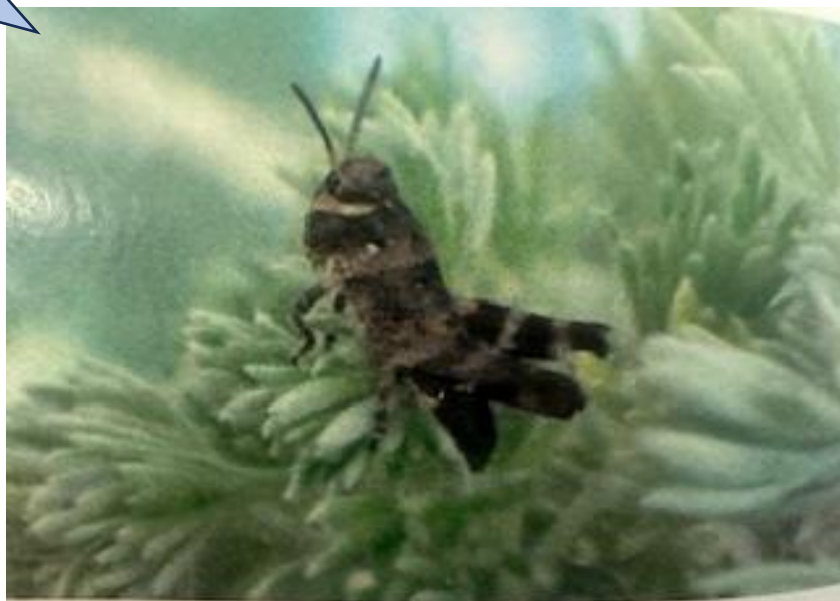


## 幻のアカハネバツタ

塩谷砂丘の自然Ⅱいわふね自然愛好会  
令和六年度アカハネバツタ保全に関する調  
査検討業務報告書より添付

塩谷海岸には、絶滅危惧 1A 類に指定されているアカハネバツタの生息地とされています。名前の通り、羽は赤く、夕日のようなきれいな色です。

貴重な動植物を守るため、いわふね自然愛好会の方や、平林小学校でも保全活動を行っています。地域の宝である自然を大切に、皆さんで守っていききたいですね！



幼い頃、夏休みになると友達を誘って、海で水遊びをするために、家から水着を着たままバスタオルを首にかけ、日に焼けて熱くなった焼砂浜をジャンプしながら一気にかけて海へ飛び込んだことを思い出します。

自然が豊かな砂山地域ですが、耕作地のように手入れや気配りをしないと、気候変動や温暖化の影響を受けて、今まで当たり前のようであったものや景観まで変えてしまう威力を持ち合わせているのも自然です。

魅力ある自然を、将来の子どもたちのために残せるよう、海岸が欠けてしまわないように今出来ることをみんなで考えることが大切です。

すなやま支援員だよりについてご意見、ご要望がございましたら、  
お気軽にお問合せください。Eメールアドレス;[sunayama.shien@gmail.com](mailto:sunayama.shien@gmail.com)

